

おわりに（今後の課題）

①地区別の観光防災対応方針の検討・取りまとめ

本手引きでは、町全体で実施する観光防災対応の方針を示しています。一方で、この手引きで示した対応を実際の災害時に適切かつ迅速に実践できるようにするためには、各地区単位（観光協会単位）で、より具体的な情報伝達のルール、役割分担や担当者を定める必要があります。その際、土砂災害が発生する可能性、収容施設（避難施設）までの距離、観光施設の集積・分散の度合い、地区の人員体制等の地区の実情を踏まえ、よりきめの細かい対応のルールや役割分担を定めることが望まれます。

②手引き内容の改訂・更新（訓練と改善を繰り返す）

「6. 平常時の備え」でも述べたように、本手引きをもとに、「身体が覚えこむまで」繰り返し訓練することが重要となります。さらに訓練を通じ、実際に上手く対応できなかったところや必要な改善点を検証し、その結果を本手引きに反映していく必要があります。

そういった意味で本手引きは“完成版”ではなく、今後の訓練を通じて絶えず改善を加えていく“試案”としての位置づけとなります。